

令和4年度学校関係者評価シート(年度末評価)

令和5年3月15日

校番	202 127	学校名	広島観智学園中学校・高等学校	校長氏名	福嶋 一彦	<input checked="" type="checkbox"/> 全・定・通	<input checked="" type="checkbox"/> 本・分
----	------------	-----	----------------	------	-------	---	---

評価項目	評価	理由・意見
目標、指標、計画等の設定の適切さ	A	<p>○目標、指標、計画等は、適切に設定されている。学校の特色と課題に即して経営目標、評価指標が設定されている。</p> <p>○3年間の経営目標については、(1)国際バカロレア教育 (IB プログラム) を、教育活動の主たるツールとして充実を図り、本校のミッション、ビジョンの達成を目指す、(2)教科横断的で探究的な学習活動を展開することにより、主体的・対話的で深い学びを実現する、(3)寮生活における多種多様な人とのコミュニケーション活動等を通して、将来のリーダーとしての人格の陶冶に努めるとしている。いずれも国際バカロレア教育の基礎をなす事柄であり、さらにそれぞれの年度ごとの短期目標についても複雑とならずシンプルに目標設定されているものと考えられる。これらの目標計画に沿って、フレキシブルに多様なアイデア・達成方法を用いて取り組まれることを望む。</p> <p>○現実味のある具体的な目標・指標・計画である。</p> <p>○HiGA に求められている役割、重点事項が適切に設定されていると思います。</p> <p>○成果も十分伺え、役割も明確にされており、適切であると思います。</p>
計画の進捗状況の評価の適切さ	A	<p>○計画の進捗状況の評価は、適切に行われている。目標値と実績値との関係で到達度は評価されている。なお、中期経営目標3を構成する短期経営目標の3項目については、他の項目と比べて一貫性を欠くところがある。3項目はいずれも目標値を達成していないが、A評価となっている。他の項目では、実績値が目標値を上回るか同一の場合はA評価、目標未達の場合はB評価となっている。</p> <p>○自己評価が良い点では心配する要素はないと思われるが、ルーブリックをどのように設定してその結果・傾向をどのように評価するのかの分析は、業務量の負担増にならない形で考察された方がよいのではと感じた。</p> <p>○適切に評価されている。</p> <p>○目標値が厳しいこともあり、目標数値に達していない項目もあるが、全般的に良好な進捗と考えられます。</p> <p>○実績より見て、計画の進捗状況も順調で適切であると思います。</p>
目標達成に向けた取組の適切さ	A	<p>○目標達成に向けて、適切に取組が行われている。特に以下の取組は、特筆に値する。中期経営目標(2)を達成するために、教科横断的な探究的な学習活動が展開されていること。中でも MYP プログラムの学際的単元(IDU)では、概念で教科と教科を結び付けて指導できていること。また、パーソナルプロジェクトをきめ細やかに指導し、世界平均点を上回ったこと。中期経営目標(3)を達成するために、高等学校の寮則を生徒主導で作成させていること。寮則づくりを通して、多様な文化的背景をもつ留学生と日本人生徒との相互対話・相互理解の場を設けていること。</p> <p>○MYP から DP への円滑な接続に向け、高等学校1学年部を中心に生徒・保護者に対して丁寧なガイダンスを行う、MYP 推進チームを構成する教科主任とコーディネーター間で情報連携をしながら、年間のカリキュラムを充実させる、海外連携プログラムなど年間を通して生徒が自身の可能性を広げるイベントに積極的に参加させるなど、目標達成に向けた積極的な取り組みがなされとされている。1期生のパーソナルプロジェクトの学年平均点は 4.38 点と世界平均を上回った点は素晴らしい。教職員・生徒が一体に取り組んでいることの賜物と捉えたい。</p> <p>○職員一同、リーダーの下、一丸となって取り組んでいる。</p> <p>○教員同士の情報連携が取られているなど、良好な印象を受けました。</p> <p>保護者の立場としても情報提供をしていただきありがとうございます。</p> <p>ただ理解し難いDPの制度や取組を、留学生の保護者にどの程度説明できているのかが気になりました。</p> <p>○達成に向けた計画も明確で、実績・成果も出ており、取り組みも適切だと思います。</p>

<p>評価結果の分析の適切さ</p>	<p>A</p>	<p>○評価結果が、適切に分析されている。特に以下の分析は、特筆に値する。IB プログラムのさらなる充実に向けて、生徒及び教職員の主体的な学びが欠かせないという分析。各教科でプロジェクト型の学習を充実させ、スキルの習得や協働的な学び、セルフマネジメント能力の向上に一層つとめさせるべきという分析。高等学校開校に伴い時間割が固定化されるため、研修方法を工夫する必要があるという分析。高校開校とDP 開始という本校ならではの特殊事情が、学校現場にどのような結果をもたらしているかを適切に分析できている。</p> <p>○報告書の内容では詳細の評価は、私自身は難しいと感じたが、全体を通して必要な分析はなされているものと捉えたい。</p> <p>○ワークライフバランスのうち、一月当たりの時間外勤務45時間以下の教職員の割合の自己評価がC だが、他校と違い、全寮制であることから厳しめの評価といえる。</p> <p>○1 期生のパーソナルプロジェクトが世界平均を上回っていながら、それに満足せず改善の余地があると評価されている点は、子どもを預ける親として大変頼もしく思います。</p> <p>○コロナ渦でも目標達成できており評価結果の分析も適切であると思います。</p>
<p>今後の改善方策の適切さ</p>	<p>A</p>	<p>○今後の改善方策は、適切に導出されている。特に以下の改善策は、特筆に値する。中期経営目標(3)を達成するために、生徒の自治的な活動を充実させようとしていること。また、A4LC 活動の充実や運動系の課外活動の充実を図ろうとしていること。働き方改革に係る中期経営目標を達成するために、年度途中でも柔軟に役割分担を追加・変更したり、スクラップアンドビルドの視点から業務内容を精査しようとしていたりしていること。中期経営目標(1)を達成するために、授業の担当者が変わっても業務が引き継げるように教材・資料を整理したり、教職員がお互いに学び合える環境を学校全体で作ろうとしていたりしていること。</p> <p>○課題点を整理され、対応として示されている内容は改善方策として適当であると理解しました。</p> <p>○今月末で現校長が退任ということなので次の校長への引き継ぎが期待される。</p> <p>○改善方策それぞれは適切なものと思います。一方で業務負担が増えるようにも思われる内容があり、働き方改革とのバランスをとる難しさがあるのではないかも感じました。</p> <p>○改善課題も明確で、改善策も具体的に分析されており、適切であり、今後期待できると思います。</p>
<p>総合評価</p>	<p>A</p>	<p>○上の各所見をからみて、本校は学びの場としての機能がますます充実する傾向にある。以下の点のさらなる充実を期待したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IB 校としての特色に鑑み、教職員の専門性をさらに高めること。修士、博士の学位取得を奨励し、教育の専門家としての地位を確立し、学内外にもそれをアピールできる体制を整えること。 ・公立校としての事情を踏まえ、異動してきた教員を継続的に支援する研修システムを構築すること。新しい学校文化・教育理念とこれまでの教職キャリアとの接続を図ることができるように、理論と実践、双方の視点からの研修を充実させること。 ・生徒の進学先を開拓するとともに、国内外に HiGA を認知していただく活動を展開すること。例えば、短期・中期の交換留学制度を導入し、HiGA の魅力を体験したアンバサダーを輩出すること。 ・これらのことを推進するために、業務内容の整理、統合を進めること。 <p>○全体各種行事も含めてしっかりと取り組まれていることが理解できました。</p> <p>他方、学外者による評価としては、評価に必要な情報が足りないため苦劳がありました。</p> <p>まずは、訪問の機会を作ることができなかった自分自身への反省として、①評価をする必要のある点をあらかじめ整理する。②教員、職員、生徒さん、保護者の皆さまそれぞれに、ルーブリックも参考にしながら可能な限り面談の機会をとらえて感想をお聞きする。③評価書及びステークホルダーからの意見・感想をもとに、評価点・課題点を纏める。以上のような準備をしていきたいと感じたところであります。</p> <p>○まずは、現校長の様々な取組とリーダーシップに敬意を表します。今後、新しいリーダーの下の学校も楽しみにいたしております。</p> <p>○ODP に関して HiGA として前例がない状態で、積極的に取り組んでいただき保護者としてありがたく思います。引き続きよろしく願いいたします。</p> <p>○学びの変革のモデルとなる学校を目指し、さまざまな取組がなされている。可能であるなら、パーソナルプロジェクト発表会を公開していただけると学校の取組が一層理解されると考える。</p> <p>○コロナ渦の下、教職員、生徒とも大変な環境の中しっかりと結果も出ており、一層のスキルアップを期待します。</p>